

2011年3月26日(土) → 5月15日(日) 東京都写真美術館 地下1階展示室「恵比寿ガーデンプレイス内」

月曜休館(但し5月2日は開館)10時~18時(本・金日20時) 入館は開館の30分前まで 主催：朝日新聞社 共催：東京都写真美術館 後援：フランス大使館 協賛：野崎印刷紙業株式会社 協力：エールフランス航空 / Numéro TOKYO

BETTINA RHEIMS

ベッティナランス写真展 MADE IN PARADISE 女神たちの楽園

東京都写真美術館

セレブたちの美しき幻影と気品



家話 エクスネン 2006



ナタシ・キャンベル ポートレイト 1999



モニカ・ベルッチ セクシーな7月の朝 2007

フランスの女性写真家ベッティナ ランスは、30年以上にわたって女性を被写体にした作品を発表してきました。女性たちがまとう華やかさと儚さ、内面から湧き出る美や意気な空気までも写し出すことに成功しています。今回展示される作品約60点の被写体には、マドンナ、シャロン ストーン、ソフィーマルソー、シンディクロフォードなど、映画や音楽、ファッション界で一時代を築いた女性たちがその名を連ね、レンズの前で飾り気のない心情や濃厚な人間性を惜しげもなくさらしています。日本からは、ベルリン国際映画祭で最優秀女優賞を受賞した寺島しのぶ、ファッションモデルの道端ジェシカの2人が登場します。モデルになった女性たちはベッティナの前で自分のすべてをさらけ出し、多くのセレブたちが「撮られたい写真家」として最初に彼女の名前をあげるほどの信頼を集めています。ポートレイトの中で見せる解放された肢体や表情は、写真家と女性たちが創造する一瞬の楽園“PARADISE”にほかなりません。



Bettina Rheims © Serge Brandy

ベッティナ ランス Bettina Rheims

1978年のデビュー以来、主に女性をテーマに数々のプロジェクトを実施。独特の鋭敏なセンスとアプローチでモデルに接近し、次々に作品を発表。1995年には、ジャック シラク仏大統領の公式カメラマンも務める。2004年ヘルシンキ市立美術館で初の回顧展が開催され欧州を巡回。2007年レジオン・ドヌール勲章を受賞し現代フランスを代表する写真家として評価を受ける。シャネルのCFなど、数々の広告や雑誌の仕事を手掛けたとともに、近年は個人プロジェクトに精力的に取り組む。最新シリーズ Rose, c'est Paris は、2010年パリ国立図書館で写真展が開催された。
www.bettinarheims.com/



野崎印刷紙業株式会社 AIRFRANCE Numéro

観覧料：一般 900(720)円 / 学生 800(640)円 / 中高生・65歳以上 700(560)円

* () は20名以上の団体より東京都写真美術館友の会会員、小学生以下より障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料、* 第3水曜日 65歳以上無料



東京都写真美術館 地下1階展示室【恵比寿ガーデンプレイス内】

153-0062 東京都目黒区三田 1-13-3 03-3280-0099 www.syabi.com
JR 恵比寿駅東口より徒歩7分 / 東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩10分
当館には専用の駐車場がございません。お車でご来館の際は近隣の有料駐車場をご利用ください。

同時開催：「Héroïnes」ベッティナ ランス写真展

2011年3月26日(土) → 4月24日(日) 12:00 → 20:00 (無休・入場無料)

シャネル・ネクサス・ホール 東京都中央区銀座 3-5-3 シャネル銀座ビルディング4階 03-3779-4001 www.chanel-ginza.com/

ベッティナランスが2005年に撮影したシリーズをご紹介します。石の台座だけを小道具にして、グレーのモーションを背景に、23人の女性達の「オフビート」な美が表現されています。

ベッティナランス写真展 MADE IN PARADISE 女神たちの楽園

セレブたちの美しき幻影と気品